

# 50周年記念式典 に向けて～



祝 伊奈町町制施行50周年記念式典



令和3年10月31日(日)、伊奈町総合センター大ホールで、伊奈町町制施行50周年記念式典を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、招待者数の制限をするなど、規模を縮小して行いました。式典では、町功労者表彰、感謝状贈呈、マリンバ演奏などが行われ、町制施行50年を皆で祝う記念すべき一日となりました。

また、昭和45年11月1日の町制施行により伊奈町となってから、現在までの50年の歩みを皆様と振り返るとともに、これからの50年に向けて機運を高めるものとなりました。



▲町ホームページ  
「伊奈町魅力発信大使」



▲町ホームページ  
「伊奈町町制施行50周年記念式典を開催しました」

特集

# 伊奈町町制施行

## ～ 次の50年



本日ここに、伊奈町町制施行50周年記念式典を挙行いたしましたところ、大野元裕埼玉県知事をはじめ、多くのご来賓の皆様、そして町発展に多大なるご貢献をいただきました皆様のご臨席を賜わり、厚くお礼申し上げます。本日は、表彰式も併せて開催させていただきました。

本来であれば、ご貢献いただきました全員の皆様にご臨席を賜り、記念式典を盛大に挙行するところでございますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数や内容を縮小しての開催とさせていただきます。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

さて、伊奈町は昨年11月1日に町制施行から満50年を迎えることができました。新型コロナウイルス感染症の影響から、記念式典が1年延期となりましたが、本日ここに、50周年記念式典が挙行できますこと、心から感謝を申し上げます。次第でございます。

歴史をさかのぼること約430年前、伊奈備前守忠次公が、小室丸山に陣屋を構え、関東一円の治水や新田開発、河川改修等を行い、関東繁栄の礎を築きました。伊奈

## 町長式辞

町の名が、この伊奈忠次公に由来しておりますのはご承知のとおりでございます。

伊奈町は、昭和40年代後半から区画整理事業に着手し、幹線道路や生活基盤ならびに公園などの公共施設を計画的に整備してまいりました。交通網につきましては、昭和58年に埼玉新都市交通伊奈線が開通し、緑や田園風景を残しつつ、利便性の向上とともに人口が増加の一途をたどり、昭和45年町制施行当時1万346人であった人口は、平成7年には3万人、平成19年には4万人を突破し、若い人たちが集う活気にあふれる町へと発展してまいりました。現在は4万5千人を超える、全国有数の大きな町へと変貌しております。

また、伊奈町は「バラのまち」とも呼ばれています。バラは町民に広く親しまれ、自宅の庭でバラを育てる方も多く見られます。現在バラ園には、400種5000株のバラが栽培され、1.2ヘクタールの広さを誇る県内最大のバラ園となりました。毎年春と秋には豪華絢爛なバラが咲き誇り、関東一円からも多くの方が観賞に訪れております。

このように50年の歴史を重ねることができたのも、ひとえに先人の皆様のたゆまぬ努力と町議会をはじめ、町民の皆様方、さらには国・県および近隣の市や町の皆様方の格別なるご理解とご支援の賜物であります。ここに、改めてお礼を申し上げる次第でございます。

伊奈町総合振興計画では、「日本一住んでみたいまち」を目指して、町民の誰もがいきいきと元気に暮らせる、そして笑顔がはじける、活気に満ちた、魅力あるまちづくりに取り組むことを目標としております。今後も、「ずっと住みたい 緑にあふれた キラキラ光る 元気なまち」の実現に向け、全力投球してまいりますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日ご多用のところご臨席いただきました皆様に対し、心から感謝申し上げますとともに、ご参加の皆様方のますますのご健勝とご発展をご祈念申し上げます。式辞といたします。

令和3年10月31日

伊奈町長 大島 清